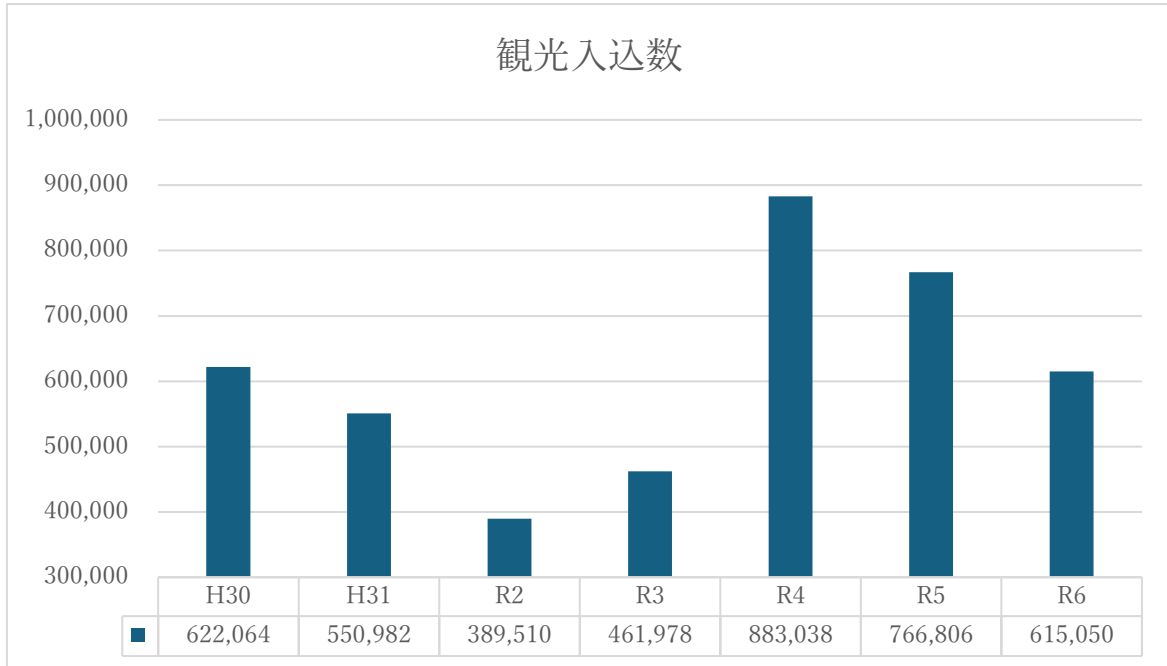


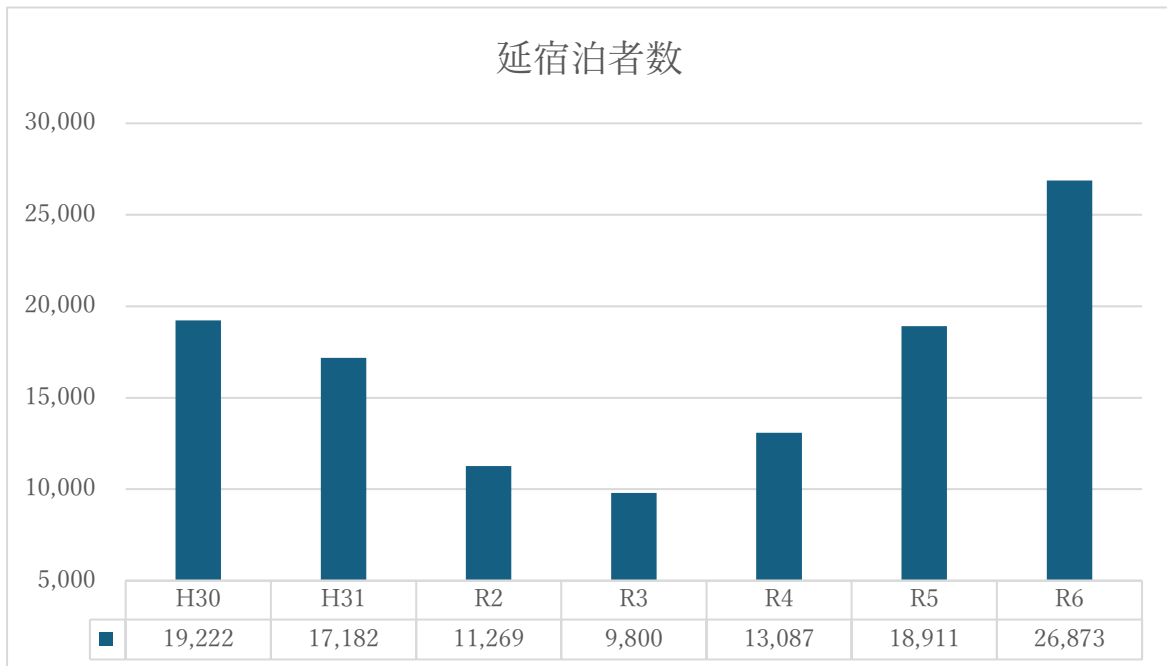
(資料2)

観光入込数等の推移

(単位：人)

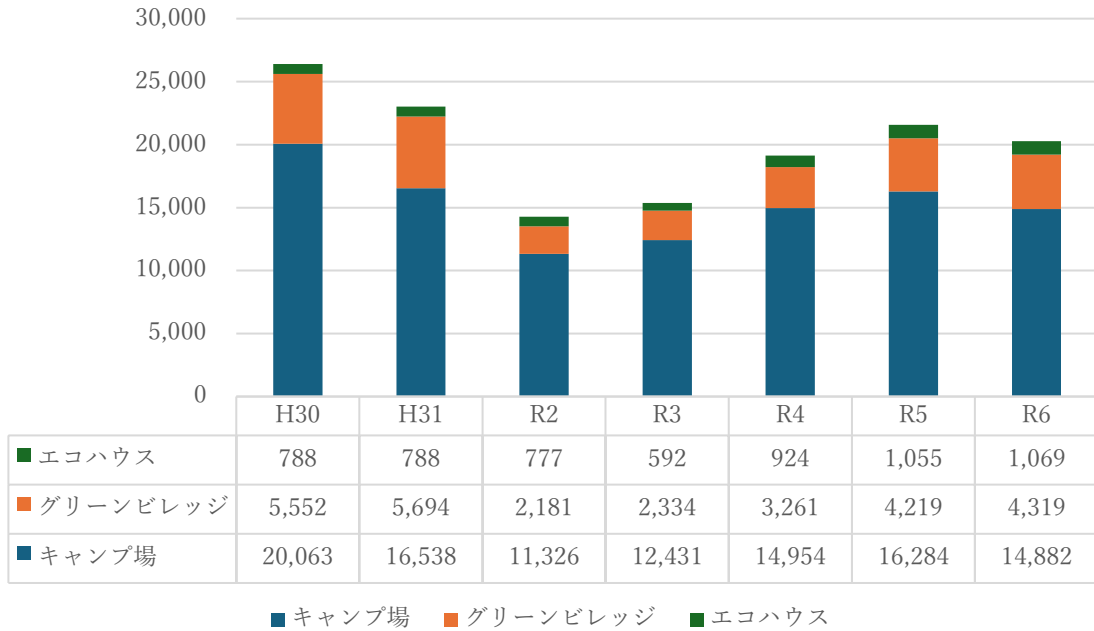


※第2期 美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略 R6 目標値：750,000 人

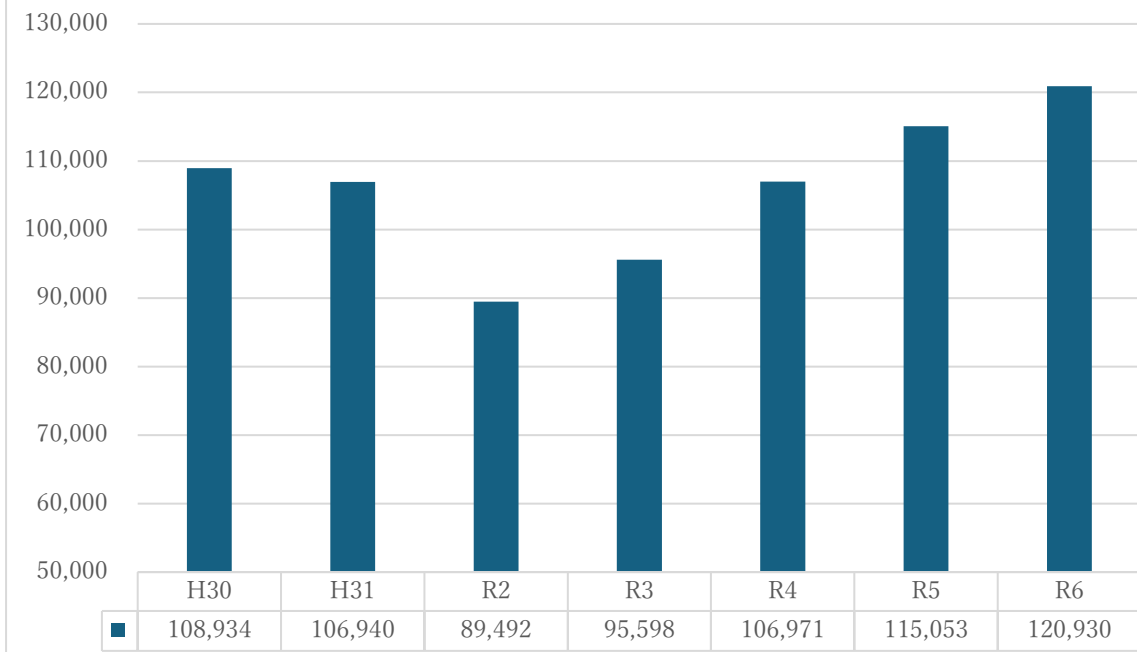


※第2期 美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略 R6 目標値：22,000 人

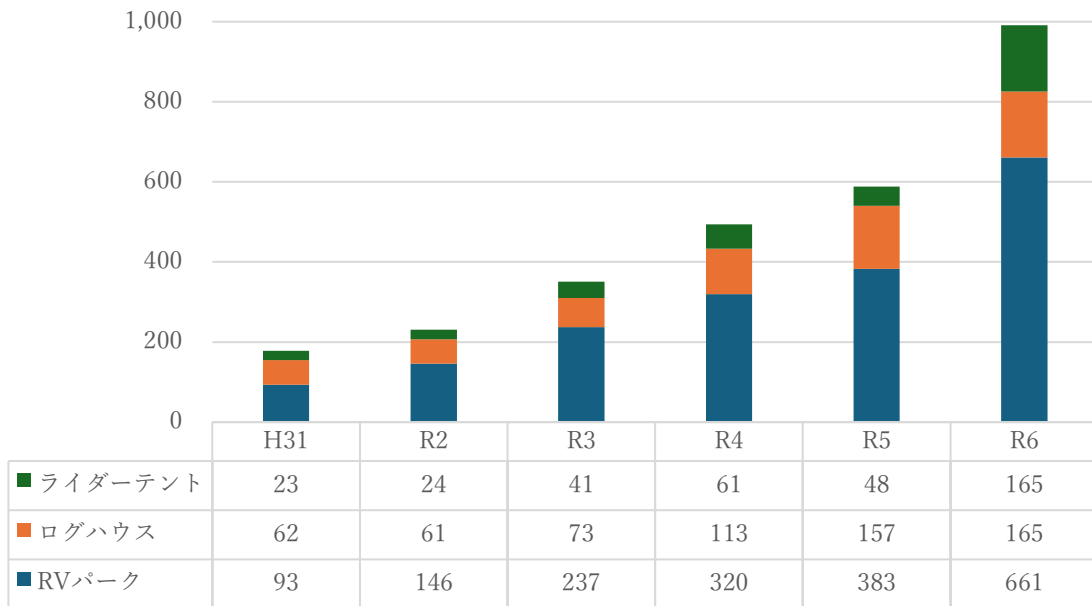
みどりの村利用者数



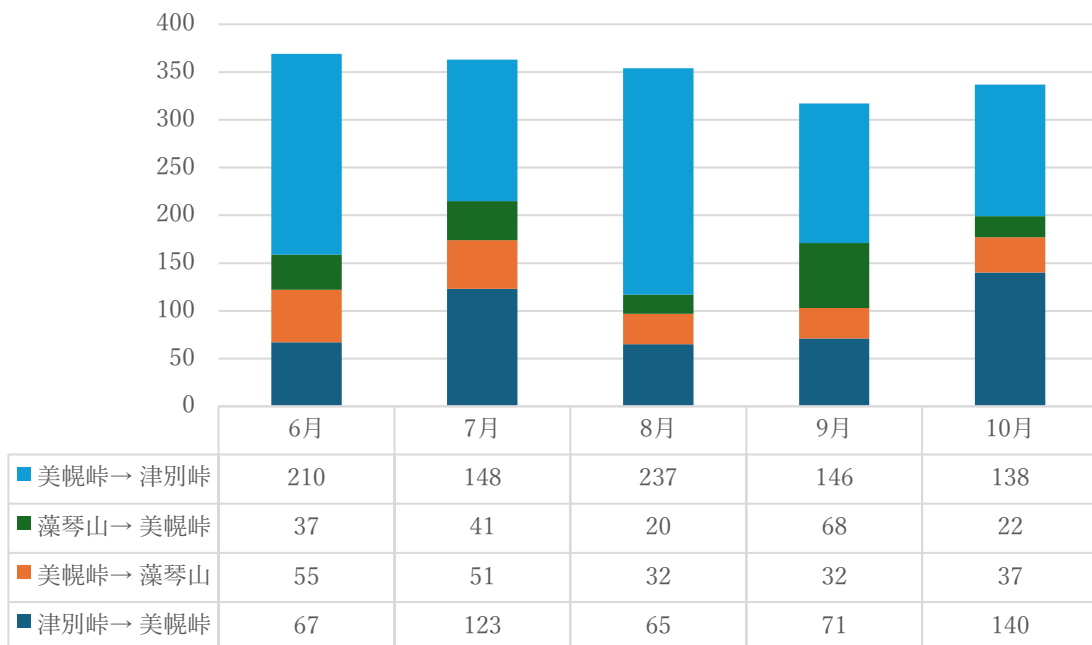
峠の湯入浴客数



峠の湯屋外施設利用者数（宿泊）



屈斜路カルデラトレイル利用者数（R7）



アクションプランの実績

アクションプランの実績を整理し、定性評価（5段階評価）を適用して検証しました。評価基準は次のとおりです。

- 5：先進的に実施 → 複数回実施され、地域に定着／外部から高評価
- 4：計画通り実施 → 想定した活動が毎年安定して行われた
- 3：部分的に実施 → 実施はあるが不定期／参加者や成果が限定的
- 2：一部着手 → 試行段階、関係団体と調整のみで成果が出ていない
- 1：未実施 → 検討に留まり、具体的な行動なし

到達目標	具体的戦略	実践内容	評価
			5: 先進的に実施 → 複数回実施され、地域に定着／外部から高評価 4: 計画通り実施 → 想定した活動が毎年安定して行われた 3: 部分的に実施 → 実施はあるが不定期／参加者や成果が限定的 2: 一部着手 → 試行段階、関係団体と調整のみで成果が出ていない 1: 未実施 → 検討に留まり、具体的な行動なし

キーワード 観光ひとづくり

基本方針① 人材育成の促進

【最重要戦略】

景観・食・文化・自然体験など町の魅力を十分に活かした観光振興の中心となる人材を育成します。

観光物産協会、商工会議所、町の3団体を中心に、「核」となる質の高い人材の発掘・育成を図ります。

観光部門の地域おこし協力隊の採用
延べ4名のうち2名が定住し、1名が現役

4

基本方針② 関係機関・団体との連携強化

【最重要戦略】

観光関連団体と連携を強化し、既存組織の活性化を図るとともに、新規の連絡協議会等の組織化を目指します。

観光関連団体間の連携を強化し、観光情報の共有、観光振興策の検討を行うとともに、意識の高揚を図るための組織化を目指します。

美幌町観光まちづくり協議会を設立。令和3年度で解散後、事業を観光物産協会が引き継ぎ、マチガヤド部会を設置。

3

関係機関等と情報交換会を開催することにより連携強化を図り、観光と結びつけた事業実施に取り組みます。

・各種交流事業の把握と周辺地域や本町とゆかりのある地域等との情報交換会を開催し、観光と結びつけた事業実施に取り組みます。

・参加する協議会等の数
町: 16団体
観光協会: 9団体

5

「食」の観光の仕掛けを関係機関と連携し目指すとともに、美幌高校へのサポート体制を確立し、商品開発や食育事業などの推進を図ります。

美幌高校へのサポート体制を確立し、商品開発や食育事業などの推進を図ります。

美幌笑顔プロジェクトによる商品化・販売を通じた協働

4

飲食店や旅館などの関係業種間と連携し、美幌の食材にこだわった料理の研究・開発により、「食」の観光の仕掛けを目指します。

道の駅レストランの仕入れに関し町内調達率平均60%以上

3

観光ものづくり

基本方針③ 情報発信

【最重要戦略】

景観・食など町の魅力が、多くの観光客に届くように多様な手段を活用し情報発信に努めます。

「ロードマップ」や「うまいものマップ」などを作成し広く情報発信の提供を図るとともに、パンフレット及び報道機関並びにSNS等を活用した情報発信に努めます。

・食堂組合による飲食店マップ作成
・美幌町公式観光パンフレットリニューアル
・美幌観光物産協会マチガヤドHP運用

4

到達目標	具体的戦略	実践内容	評価
東京美幌会へ出席するなど美幌観光物産大使と直接対話する機会を増やすことにより連携を密にし、都市圏を中心としたPR活動の推進を図ります。	美幌観光物産大使との連携を密にし、都市圏を中心に積極的なPR活動の推進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・東京・札幌美幌会を通じての特産品販売 ・首都圏での観光物産大使が実施したコンサートでPR ・観光物産大使へアンケートの実施 	<p>5: 先進的に実施 → 複数回実施され、地域に定着／外部から高評価</p> <p>4: 計画通り実施 → 想定した活動が毎年安定して行われた</p> <p>3: 部分的に実施 → 実施はあるが不定期／参加者や成果が限定的</p> <p>2: 一部着手 → 試行段階、関係団体と調整のみで成果が出ていない</p> <p>1: 未実施 → 検討に留まり、具体的な行動なし</p> <p style="text-align: right;">3</p>
観光まちづくり			
基本方針④ みどりの村の利活用			
みどりの村を拠点に、四季を活かした魅力ある体験型観光プログラムの確立を目指します。	「みどりの村」を拠点に、四季折々の体験型メニューの開発を検討し、魅力ある体験型観光プログラムの確立を目指します。	みどりの村再整備の実施（～令和8年度）	5
基本方針⑤ 滞留型及び滞在型並びに体験型観光の推進			
<p>【最重要戦略】 体験型観光のメニュー化及び受入体制づくりを推進します。</p>	<p>自然環境の保全に十分配慮しつつ、自然教育体験の推進や景観などの地域資源を活かした観光の推進を図り、“癒しの空間”の提供による滞留型及び体験型観光の推進を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・屈斜路カルデラトレイル開通 ・BIHOROBASEの実施 	4
幅広い分野で合宿等の開催回数を増やすとともに、指導する機会の創出を図り、滞留型及び滞在型観光に結びつくような取り組みを推進します。また、合宿等期間中に街なかの回遊を促進するため、観光情報を積極的に提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ及び文化団体の合宿や各種大会、研修会などの招致により交流人口の増加を図り、合宿団体等による指導の機会などを通し、参加者等が滞留型及び滞在型観光に結びつくような取り組みを推進します。 ・合宿団体等に対し観光情報を積極的に提供し、街なかの回遊を促進することにより地域経済の活性化を図ります。 	ラグビー、サッカーなどのスポーツ合宿受け入れ	4
「ヘルスツーリズム」※や「グリーンツーリズム」※のプログラムや受入体制など事業運営を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設と健康増進を目的としたプログラムを連動した「ヘルスツーリズム」を推進します。 ・官民一体となった「グリーンツーリズム」の受入体制の整備や、農業及び林業の体験が気軽にできる条件整備を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美幌町農村ツーリズム推進協議会を組織し、教育旅行を受け入れ ・企業の森林づくりを通じ、ワーケーションで企業受け入れ 	4
地元不動産業者と連携を図り、「空き家」の利活用について、「空き家バンク」等の利活用を目指し、滞在型観光の推進を図ります。	地元不動産業者と連携を図り、「空き家」の利活用を推進することにより滞在型観光の推進を図ります。	移住体験住宅の整備（補助）	3

到達目標	具体的戦略	実践内容	評価
<p>各関係団体と連携を図りながら、宿泊施設の誘致に努めます。</p> <p>観光客にニーズ調査を実施し、現状把握したうえで、近隣の自治体や観光協会等と連携を図りながら、周遊プログラムの調査・研究を行います。また、「道の駅」などの集客施設の建設を推進し交流人口の増加を図ります。</p>	<p>滞在型観光の推進を図るため、商工会議所等の関係団体と連携を図りながら、宿泊施設の誘致に努めます。</p> <p>・近隣の自治体や観光協会などの団体等と連携を図りながら、周遊観光プログラムの調査・研究を行います。</p> <p>・観光客にニーズ調査を実施し、現状の課題や方向性を見いだすとともに、滞在型観光の推進を目指します。</p> <p>・近年の観光形態に対応した「道の駅」などの集客施設の建設を推進し、観光交流人口の増加の促進を図ります。</p>	<p>コロナ禍でグランドホテルが閉館したものの、跡地に民間事業者によるビジネスホテルがオープン</p> <p>・道の駅のリニューアル</p> <p>・屈斜路カルデラトレイル開通</p>	<p>5: 先進的に実施 → 複数回実施され、地域に定着／外部から高評価</p> <p>4: 計画通り実施 → 想定した活動が毎年安定して行われた</p> <p>3: 部分的に実施 → 実施はあるが不定期／参加者や成果が限定的</p> <p>2: 一部着手 → 試行段階、関係団体と調整のみで成果が出ていない</p> <p>1: 未実施 → 検討に留まり、具体的な行動なし</p> <p>5</p> <p>5</p>
基本方針⑥ 緑化による観光の推進			
<p>「みどりの村」などの広大な土地を利用した「花や樹木による観光」の可能性について調査・研究を行います。</p>	<p>「花の植栽」を継続するとともに、「みどりの村」などの広大な土地を利用した「花や樹木による観光」の可能性について調査・研究を行います。</p>	<p>みどりの村再整備の実施（～令和8年度）</p>	<p>5</p>
基本方針⑦ 安全安心な観光地づくりの推進			
<p>【最重要戦略】 利用者に配慮した観光施設等の管理運営の推進と安全・安心な観光地づくりを推進します。</p> <p>外国人が安心して訪問できるよう、外国語表記の案内版や標識について、設置場所や表記方法を調査し整備を推進します。</p>	<p>トイレにおける清潔感や安心感など、利用者に配慮した観光施設や公共施設等の管理運営の推進により“ホッとする町!!”の展開を図るとともに、“防災”“防犯”に配慮した安全・安心な観光地づくりの推進を図ります。</p> <p>外国人が安心して、訪問できるよう外国語表記の案内版や標識などの整備を推進します。</p>	<p>峠の湯RVパーク利用者向けの休憩室整備</p> <p>Uni-Voiceアプリを活用し、広域観光の案内をサポート</p>	<p>3</p> <p>2</p>
基本方針⑧ 地域資源の利活用			
<p>新たな観光資源を調査し可能性を探るとともに、未利用施設を含めた既存施設などを最大限に活かした観光地を目指します。</p>	<p>・新たな観光資源の発掘や歴史的に価値ある観光資源を調査するとともに、「美幌博物館」と連携し活用の可能性を探ります。</p> <p>・安全面に配慮しつつ、「廃校」や「未利用施設」、「既存施設」などを最大限に活かした観光地を目指します。</p>	<p>・WorkingSpace KITENの整備</p> <p>・峠の湯びほろへRVパーク整備</p>	<p>5</p>

到達目標	具体的戦略	実践内容	評価
<p>地域資源を活かした特産品の「開発」「販路拡大」等の支援を推進し、官民一体で特産品の確立を図れるように、各関係機関との連携を強化します。</p>	<p>地域資源を活かした特産品の「開発」「販路拡大」等の支援を推進し、官民一体となった特産品の確立を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品開発補助金の整備 ・展示販売会の実施 ・販路開拓個別相談会の実施 	<p>3</p>
<p>基本方針⑨ イベントの充実</p>			
<p>四季折々のイベントの開催を推進し、内容の充実に努め、魅力あるイベントを展開するとともに、来場者に配慮する取り組みを推進します。 「食」を活かしたイベントの推進を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四季折々のイベントの開催を推進し、「参加型」や「体験型」の要素を盛り込むなどイベント内容の充実に努め、「魅力あるイベント」の展開と交流人口の拡大、さらには来場者に配慮した取り組みの推進を図ります。 ・「食」を活かしたイベントの継続及び創出の推進を図り、「食」による観光の推進と交流人口の増加に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和牛まつり、夏まつり、ふるさと祭り、冬まつりの継続実施 ※デュアスロンの開催休止（令和5年度） 	<p>3</p>